



テーマ 「語」・かたろう

イベントで盛り上がるのも楽しいけれども今年はちょっとリッチなフレンチレストランで生演奏をBGMに恩師や旧友達とゆっくり食事をしながら語り合うのもいいものです。



地下鉄をご利用の場合

東京メトロ H 日比谷線 「H04 六本木駅」1C出口
都営地下鉄 E 大江戸線 「E23 六本木駅」3出口
都営地下鉄 E 大江戸線 「E22 麻布十番駅」7出口
東京メトロ N 南北線 「N04 麻布十番駅」4出口
東京メトロ G 千代田線 「G05 乃木坂駅」5出口

平成28年度 第78回 青蘭会

日時 平成28年 10月23日(日)
12:00～(受付 11:30～)

会場 六本木ヒルズ
グランドハイアット東京 2F
オールデイ ダイニング
フレンチ キッチン
(Tel: 03-4333-8781)

会費
一般会員 8,000円
(昭和35年3月以前卒業の方 4,000円)
学 生 3,000円
(平成25年3月卒～平成27年3月卒)
新 会 員 1,000円(平成28年3月卒)

内容 第1部 総会
第2部 懇親会・お楽しみ抽選会

申し込み

- ご出席の方は、9月10日(土)迄に同封のハガキにてお申し込み下さい。
- 会費は、当日受付にてお願いします。
- 開催一週間前以降のキャンセルは、会費を頂戴いたしますのでご了承下さい。
- 連名でのお申し込みは受け付けておりません。

出席予定の旧先生方

山本 常一 芝田 文子
吉田 津多子 大塚 日出子
渡辺 登美子 竹中 翠
竹沢 俊次 金織 登喜子
竹沢 洋子
(敬称略・順不同)

バスをご利用の場合

●RH01系統 渋谷駅前⇄六本木ヒルズ(直行シャトルバス)
●都01折返系統 渋谷駅前⇄六本木ヒルズ
「六本木ヒルズ」「六本木けやき坂」下車
●都01系統 渋谷駅前⇄新橋駅前「EXシアター六本木前」下車
●渋谷88系統 渋谷駅前⇄新橋駅前「EXシアター六本木前」下車
●品川・五反田駅前⇄六本木ヒルズ
●反96系統 六本木循環
「六本木ヒルズ」下車

港区コミュニティバス「ちいばす」をご利用の場合

料金:全区间¥100均一(大人・小人とも)
①[田町ルート(往復)]六本木ヒルズ
②[赤坂ルート(循環)]六本木ヒルズ
③[青山ルート(往復)]六本木ヒルズ
④[麻布ルート 広尾方面(循環)]六本木けやき坂
⑤[麻布ルート 港区役所方面(循環)]六本木けやき坂

華道部が生け花でお出迎え



茶道部がお抹茶で接待



故大内先生を囲んで



代官山「パッション」の料理

第77回 青蘭会

平成27年 10月25日(日)
in 青稜中学・高等学校アオタユキオ・メモリアルホール

第一部

安達副会長の挨拶で始まり、青田名誉会長、平野校長の挨拶・会計報告と続きました。

第二部

第二部は現役部活員+OBの方々のコラボで箏曲部+OBの美しい調べから入り、井上茜さんのピアノ演奏で夢心地、パフォーマンス付でとても楽しめたコーラス部、元気が出た吹奏楽部の演奏、相変わらず、カッコいい市川先生の演奏、在校生+OBの皆さんとの手作りの同窓会を行なう事ができました。

青稜吹奏楽部OBバンド



井上茜さん (HI4卒)



箏曲部+OB



コーラス部

市川先生のサクソ演奏



吹奏楽部

夢に向かって



木下 日葉乃
(H27卒)

大学入学前から「大学生活の4年間は遊び放題の、人生である」と聞いていた。ぐうたらな私はそんな4年間で待っていることが嬉しくてたまらなかった。

私はいま、「高校を卒業したら大抵のことができるから自力で生きてみる」という母の考えにより一人暮らしをしている。仕送りなんてものはない。バイトをしながらバイトに対する意識はほかの学生とは全く違うと自負している。高校までは、家には食材があったし親にはおこづかいをもらえたので

こんな不安定な状況を味わったことがなかった。奨学金をもらいながら学費も支払っている。自分で借りて自分で返すお金で受ける授業は心がしゃっきりとしてとてもよく身に入る。私は経営学部にも所属していて、日商簿記1級を取得することが大学在学中の目標で今は2級の勉強をしているところである。担任の先生は私の質問に親身になって答えてくださるし、おすすめの参考書や電卓を教えてください。

大学生活は人生の夏休みだなんていふもった遊ばうたらしい毎日友達と外食したいし毎週末は遠出してお泊りもしたい。しかしこの生活に満足もしている自分もあるのだ。自分の生活に責任を持つようになり、今すべきことを意識して行動するようになったからだ。だからこの生活を大切に過ごしていきたい。

輝いてます

佐久間 悠
二〇〇六年 三月 卒業

完璧な評価などといったものは存在しない。完璧な人間が存在しないようにね。

分かりますと返事をしたが、その意味が理解できたのはそれから随分後のことだった。幼少期からゲームが大好きだった。その因果関係は不明だが、人より随分家にこもることを好む人間だ。オンラインゲームが世に出てきた高校時代。現実世界では「ネトゲ廃人」の烙印を押され、ゲーム内の世界ではその強さから「皇帝」と呼ばれたものだった。

人生について語り合った相手はゲームの世界で共に冒険していた社会人。当時はキャリア教育という概念さえなかった。アバンギャルドな話の数々に僕は自分がサダボウルの中でつぶれたトマトにでもなったような気がしたものだった。止め処なく盛りつけられる人のつながりは、経営者や政治家に



両側はハリー・ポッター出演者
左：ジェイソン・アイザックスさん
右：トム・フェルトンさん

及んだ。

ご縁とチャンスというものは十月革命の記録映画みたいに集まるもので、そのおかげもあってか、現在は報道の仕事に就いている。

ただの「ネトゲ廃人」の僕がこのコーナーに執筆するという品の良いゴミ箱のような行為にも妙な感覚がある。抑圧された夢みたいな「皇帝」としての自分。その存在が現実となるよう、今後も高みへ向かう。

My Teacher

青蘭から青陵へ

日本史教諭 林 和男 先生

平成5年に本校に講師として採用されて今年で24年目。月日がたつのは本当に早い。その間に学校も社会も大きく変化しているのを強く感じている。採用当時は女子校で週2日6時間、高校2年4組と2年5組の日本史を担当した。女子ばかりの教室で緊張の連続だったこと、手書きで授業プリントを作っていたこと、顧問の大沢先生にお願いして、数々年間JRC同好会のボランティア活動に参加させて頂いたこと、パンなどの注文をクラスでまとめてとっていたこと、制服が異なっていたこと、体育祭にキャピラーなど謎の種目があったことなど、今では懐かしい思い出であると共に、様々なことを自由に体験させて頂いた時でもあった。

専任教諭となった平成9年は、男女共学校となって学校の雰囲気も変わり、教員全体が様々な試練に立たされた時期で、現在の学校の姿とはまったく異なっていた。そうした中で思い出されるのは、保護者が生徒に宛てた手紙を担当が預かり、八ヶ岳自然教室で渡した生徒が読む場面だ。ふだん口に出さない思いが生徒に伝わり、涙を流しながら読んでいた生徒も多かった。その姿から様々なことを感じる事ができた貴重な体験だった。

これからも周囲の先生方や多くの人への感謝の気持ちを忘れず、卒業生の皆様が誇りに思ってくれるような学校にしていければと思っている。



My Teacher

3つの制服の思い出

元社会科教諭 野崎 真知子 先生



東京オリンピックが開催された1964年に青蘭学院での教師生活がスタートした。セーラー服の女子生徒14クラスの一担任となり、山中湖での校外研修では、地元の人に生徒と間違われる程未熟な新米センセイであった。

女子中学部が再開して2年目に中学を受け持つことになった時は「青天の霹靂」という思いで入学式に臨んだが、ボレロの制服姿の新入生を目の前にして、「なんと可愛いお人形さんのような!」と感激した。全て新しく築き上げていく過程を1年先に行く学年の先生達と真剣に取り組む日々が続いた。やがて男子中学生も入学してきて、元気溢れるやんちゃな行動に、体力・知恵のフル活動となった。怪我だけはさせてはいけないと。

ブレザー姿も清々しく男女共学となった高校では、大学進学を目標に熱く日々勉強に励み、担任クラスも男女仲良く和気あいあいとして、楽しいクラスばかりだった。

制服が物語る純真で優しく心温まる校風に感謝です。

ごあいさつ

新教頭 花岡 邦郎 先生



今年度から高校の教頭となりました。教員経験こそ三十五年を数えますが、いたずらに年を重ねただけで、はたしてこの重務が務まるか不安で一杯です。今年は国際教育部を立ち上げ、仕事も増えると思いますが、優秀かつ親切なスタッフに恵まれているので、助けていただきながら職務を全うするつもりです。どうかよろしくお願いいたします。

国際教育部創設

国際教育部長 郡山 民子 先生

同窓生の皆様、青陵に新しい部署「国際教育部」が創設されました。次にご紹介する英語教育関連の行事の計画・運営を主に担当します。

実施学年	内容(特徴)
中学全学年*	English Fun Program (少人数によるグループブレスン)
中学1年生	English Summer Camp (少人数によるグループブレスン)
中学2年生・高校1年生	セブ島英語研修/オンライン英会話(マンツーマンレッスン)
高校1年生・2年生	イギリス英語研修(ホームステイと現地学生との交流)
高校1年生・2年生	カナダ・オーストラリア短期留学(ホームステイと現地提携高校への通学)

*は全員参加、その他は希望者が参加

2020年に向けての大学入試改革も進んでおり、英語では外部試験を利用した大学入試も実施され、その数は今後も増えていくことが予想されます。その中で4技能をバランスよく伸ばしていくことが必須ですが、特にスピーキングに関しては実践が必要です。学んだ英語を駆使し、考えや気持ちを伝えることのできる英語力と日常とは違う場面に身を置いたとき、求められる力・対応力・判断力・問題解決能力を育てることがこれからの社会でも重要なことであると思います。現在、そして未来の時代に何が求められているのかを教師の目線、親の目線で考えて、生徒達の将来に少しでも役立つことを今後も提案し、実現させていきたいと考えています。英語研修・短期留学の様子はホームページにアップされていますので、ぜひご覧ください。



カナダ提携校
North Grenville
District High School



イギリス英語研修
授業風景



セブ島英語研修
国際ボランティア

躍進し続ける青陵

先輩から学ぶ

～青陵人材バンクの構築を目指して～

進路指導部長 森山 岳美 先生

学校には教師と生徒というオーソドックスな関係はもちろん、生徒間・教員間など様々な学び合いの関係が存在します。他者との関わりを通じて、自らの視野を広げ、知識を深めていくことは学校における基本的な営みと言えるでしょう。こうした学び合いに加え、現在、進路指導部では、在校生が卒業生から学ぶ機会の提供を目指しています。昨年は、中学2年生、高校1年生を対象に卒業生の講演会を実施しました。内容は「職業について」や「夢を持つこと」、「大学生活や就職活動」、「社会で求められる力」など多岐に渡り、在校生にとっても貴重な学びの機会となったと思っています。昨年度は2回にとどまりましたが、今後は多くの卒業生の皆さんの力を借りながら、バラエティに富んだ講演会を企画していきたいと思っています。そのために、長い歴史を持ち、多様な経験を持つ多くの卒業生の皆さんが所属する同窓会とも連携させていただき、より充実した進路活動を創造していきたいと考えていますので、どうぞ、よろしくお願い致します。



在校生に向けた
卒業生の講演の様子



私達の伝言板

青蘭会より

1 同窓会総会出席の場合の件

出席のハガキを出す際は、連名ではなく、各個人で申し込んで下さい。
(連名では申し込まないで下さい。)

2 同姓同名の件

同姓同名の方が、多数いらっしゃいます。総会出席のハガキ、住所変更・結婚で名字変更のハガキをお出しする場合
会員番号
卒業年月・日
生年月日
いずれかを必ず書いて下さい。
学校への問い合わせも同様をお願いします。

3 住所・名字変更の件

必ずハガキを出して下さい。



漫画研究部 5年 M.N



吹奏楽部

第29回

定期演奏会のお知らせ

日時 平成29年3月25日(土) 予定

会場 きゅりあん大ホール(大井町)

☆詳細は吹奏楽部ホームページをご覧ください

www11.ocn.ne.jp/~seiryobr/

心よりご冥福を
お祈りいたします



岡本 瑞枝先生 享年76
(H28・6月4日 商業科)



篠田 幸子先生 享年83
(H28・5月22日 音楽科)



西野 雅子先生 享年79
(H28・3月26日 保健体育)



大内キミ子先生 享年81
(H28・3月21日 家庭科)



鈴木 美代先生 享年89
(H27・12月 国語科)



福島 貫一先生 享年86
(H27・8月 商業科)

訃報

印刷所／(株) パワープランナー

[illegible]